

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年1月31日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:011-758-4666

## 3・3「STOP消費税増税！増やせ社会保障」パレード

みんなでアピール！ 誘い合って参加しましょう！



1月31日（火）、北海道社保協と消費税廃止道各界連の合同事務局会議を開き、3月3日のパレードを、「STOP！消費税増税アピールパレード」とし、予算成立前で、消費税増税法案も提案される前に、道民の思いをアピールすることにしました（目的：①消費税増税ストップ！②国民生活をより一層破壊する「社会保障・税の一体改革」を阻止する、③庶民増税、庶民増でない、応能負担の原則に立ち返った「暮らしを良くする、社会保障の充実を求める」アピール行動）。

パレードでは、「増税反対や社会保障・年金充実等の要求プラカードやのぼり、ゼッケン」「着ぐるみ」「デコレーション」などを持ち寄り、行進しましょう。集合地点では、パレード前ミニ集会では各分野から「1分メッセージ」をいただくことにしました。

**パレードの概要**  
集合 3月3日（土）午後1時30分  
自治労会館大ホール（北6西7）  
パレード前ミニ集会 1分メッセージ（各分野）  
パレード 開始 2時30分から  
自治労会館→大通公園

全道各地で行動日をきめて宣伝署名行動を！（札幌近郊の主な予定）

2月11日（土） 雪まつり宣伝（勤医協中央病院、介護に笑顔を連絡会などを中心）

2月15日（水） 年金支給日宣伝（道内各地で予定）

2月24日（金） 街頭宣伝行動（パルコ前 12時15分～45分）

\*3月27日に札幌地下歩行空間で一日行動、4月1日にも行動を計画中です。

中央社保協作成の署名、チラシ、パンフレット、のぼりなどの注文を受けています。



昨年の雪まつり宣伝

## 釧路市 消費税問題で学習会 250人が参加



消費税廃止釧路各界連と釧路社保協は1月25日、ジャーナリストの斎藤貴男氏を講師に迎え、「新春学習講演会－消費税のカラクリ」を開催しました。厳寒期の夜ながら会場の市民文化会館小ホールには250人が集まり、焦点となっている消費税増税問題への関心の高さを示しました。

開会挨拶に立った釧路社保協の吉岡猛代表委員は、野田首相は始まった国会で税と社会保障の一体改革に異様な執念を示していること、消費税は社会保障のための枕言葉に導入されたが、22年間、医療も介護も改悪され続けてきたことを指摘。「しっかり学習し、増税を許さないたたかいに結びつけましょう」と呼びかけました（釧路社保協ニュースより）。

## 北海道の地域医療を守り拡充しよう

## 道へ懇談を申し入れ

1月31日（火）、「公立病院と地域医療を守る北海道連絡会」が、会議を開き、医労連、自治労連、自治研、道民医連などが集まりました。

釧路市立阿寒病院の民営・縮小化問題や道内の公的病院が2008年1月以降「39病院で1524床減、7病院が診療所化」されていること、厚生労働省は高齢人口が増えても、病床数を増やさず、在院日数をさらに短縮するなど医療供給体制の削減をしよう（2025年のあるべき医療・介護の姿）としていること、2013年度からの地域医療計画に当たり2次医療圏の見直しの動きと道内への影響など議論しました。

当面、道内の医療機関や住民の状況について掴み、北海道と、地域医療や2次医療圏問題について懇談すること、道議会へも陳情することなど議論しました。

宮島俊彦・厚生労働省老健局長

「個人的には、急性期以外の病院はなくなるのが理想だと思っている。・・・特養はいずれ『施設』ではなく『家』『住まい』という位置づけになるのではないかと（メディアファックス1/10）」

